

科目ナンバリング		U-LAS21 10001 SJ48							
授業科目名 ＜英訳＞		ドイツ語Ⅰ A（文法）D1106 Elementary German A				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 福田 覚	
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	水4		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
ドイツ語の文法の基礎を学ぶ。一通りの文法体系を自分のものにすること、「読む」という面では辞書をしっかり使えるようにすることが目標。また、今後のためにも、外国語を主体的に学ぶ習慣を再構築してもらいたい。									
【到達目標】									
初級レベルのドイツ語の文法を理解し、辞書を用いながらこの段階のテキストが読めるようになること。									
【授業計画と内容】									
この講義はフィードバック（方法は別途連絡）を含む全15回で行う（試験を除く）。									
テキストに沿ってドイツ語の文法を段階的に習得していく。前期は、発音から始めて、10課まで進む予定。名詞やその付加語を中心に学び、最後のところで動詞の人称変化形へと視線を移していく。									
0 アルファベート、綴りと発音 1 動詞の現在形、定動詞の位置 2 名詞と冠詞の格変化 3 不規則な現在形、命令形 4 冠詞類 5 人称代名詞 6 前置詞の格支配 7 形容詞の格変化 8 話法の助動詞、未来形 9 分離動詞、非分離動詞 10 動詞の3基本形、過去形 （各項目につき1～1.5回程度で取り組んで、11の項目を14週でこなす予定）									
コンスタントなペース配分を目標にする。声に出してみる、辞書を引いてみる、問題をやってみるといった予習がスムーズな授業参加の前提で、授業時間中に整理と定着を図る。									
【履修要件】									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
【成績評価の方法・観点】									
成績評価は、原則として、学期末の試験による。ただし、学習習慣の確立も重要なので、1割程度、受講の姿勢も加味する。（平常点は受講姿勢が10割で、考え方は以下の通り。）									
予習がなされていること、出席票の記入がしっかりできていることを重視します。 <u>予習は、「分からない状態」を縮減するためにできる努力をしてください。そして予習したも</u> ドイツ語Ⅰ A（文法）D1106(2)へ続く↓↓↓									

ドイツ語ⅠA（文法）D1106(2)

のに結果的にまだ間違いがあることは何も問題ではありません。

機械翻訳、生成AIに学習そのものを代わってもらうことはできません。それらの利用は控えてください。

欠席を減点の対象とすることはしないものの、出席することでリズムが生まれ、気づきや定着につながり、最も無理なく学習できて、結果的には評価にもつながるはずなので、出席を心がけてください。

共同学習の雰囲気とルールを大事にするという観点から、私語、スマホ操作、居眠り、予習不足（予習に間違いがあるという意味ではありません）、出席票の記入の不足や未提出といったものは評価に含めません。

[教科書]

杉村涼子『基礎固めのドイツ語』（郁文堂）ISBN:978-4-261-01267-5

[参考書等]

（参考書）

中島・平尾・朝倉『必携ドイツ文法総まとめ - 改訂版 - 』（白水社）ISBN:978-4-560-00492-0
あくまでも参考書で、必須ではありません。授業中には使いません。

[授業外学修（予習・復習）等]

声に出してみる、辞書を引いてみる、問題をやってみるといった予習が授業参加の必須の前提。また、試験までに何周もするつもりで、復習して定着を図ること。自分なりの外国語学習のペース配分を確立してもらいたい。（とにかく辞書と仲良くすることが重要です。）

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]